

令和5年度  
チャレンジやまぐち!  
地域貢献賞  
受賞



# ブルーライトやまぐち



誰もが住みやすいまち 山口を目指して

- 所在地 山口市道場門前2-3-6 どうもんビル1F  
山口市市民活動支援センター さぼらんで気付
- 会員数 13人



## 活動の目的

市民に発達障害や自閉症について知るきっかけを提供し、「発達障害があってもなくても、誰もが住みやすい町にしたい」を目的としている。

## これまでの活動内容

2017年、山口市に住む発達障害の子どもをもつ親が主となり「発達障害を知ることによって誰もが住みやすいまち山口にしたい」という思いで啓発活動をスタート。

国連で定められた世界自閉症啓発デーである4月2日に、山口市のランドマークを啓発カラーのブルーでライトアップする取り組みを進めている。また、市民に発達障害や自閉症について知るきっかけを提供するため、啓発展示、講演会、当事者座談会、相談会などを開催している。



# 活動内容



## 1 ブルーライトやまぐちの活動原点

2017年、山口市内で初めて啓発カラーであるブルーのライトアップを実行した山口サビエル記念聖堂とJR新山口駅周辺。

## 2 山口市内のブルーライトアップ啓発の広がり

2018年以降、tysテレビ山口鉄塔、KDDI維新ホール、秋穂地域交流センター等、地域でライトアップ啓発活動の広がりをみせている。



## 3 JR 新山口駅周辺のライトアップ

実行委員とボランティアさんによる青いフィルム貼り。この地道な活動を通してブルーライトやまぐちの啓発活動が地域で認知されてきた手ごたえを感じる。

## 4 発達障害の啓発展示

山口市内の図書館や各所で始まった啓発展示。当事者や家族の声を集めたパズルピースの展示での寄り添い、地元大学生によって作られた子どもの行動特性から理解を深める展示に反響がある。



## 5 地域ニーズからの波及効果

ライトアップや啓発展示を主として始めたが、地域ニーズへ応えるため講演会、当事者座談会、相談会などを開催するに至る。